



2017. 2. 1

## 2月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園  
神戸 YMCA ちとせ幼稚園

今年は2月4日が立春です。その前日である節分は「日毎に寒くなっていく節季と、春に向かって暖かくなっていく節季の分かれ目」で、1年で最も寒い時期ということになります。それでもちとせ幼稚園の子どもたちは、頬も手も真っ赤にしながら、園庭で力いっぱい遊んでいます。

先日も、園庭で年長組の男の子二人が並んで走っていました。かけっこではなく各々別に走っていたのですが、偶然互いの足が当たって、二人は私の目の前で転んでしまいました。

二人とも年長組で体も大きく、スピードも出ていたのでかなり痛かったと思います。一人は直ぐに起き上がりましたが、もう一人はうつ伏せのまま、なかなか起き上がりません。

全身を観察して外見からの異常はなし、酷い怪我になる転び方ではなかったと考えながら、半年ほど前、同じように彼が目の前で転んだシーンを思い出しました。泣き声とポロポロこぼれる涙を思い出し、同じ幼い顔が起き上がってくるのを待ったのですが、一向に顔を上げません。泣いているのは背中です。あれ、まずいかな、「どこか怪我した？」と声をかけると、四つん這いで俯いたまま首を横に振り、こちらを見ないまま体を起こして向こうへ行っていました。

直ぐに助け起こさなかったから怒っているのかなと思って見ていると、背中を向けたまま腕で顔をぬぐい、気持ちを鎮めて、別の遊びに加わっていきました。

どうやら泣き顔を見せるのが嫌だったようです。そういえば泣き声も出ていませんでした。彼はこの半年の間に、泣き顔を人に見せたくない、そんな男の子に成長していたようです。

転んだ子を見て喜ぶのはどうかと思いましたが、嬉しく、そして寂しい一コマでした。

これから小学校へ進んで、楽しい事と同じくらい、我慢しないといけない事や辛い事があるでしょう。泣き顔は誰にも見せたくないかもしれないけれど、私たちは、みんなの笑顔と同じくらい泣き顔も覚えています。辛い時にこそ「ちょっと行ってみようかな」と子どもたちが思い出してくれる、そんな幼稚園で在れたらと思います。

### 年主題 『平和をともに』

<年主題聖句> 「キリストは私たちの平和であります。」

(エフェソの信徒への手紙 2章 14節)

### 2月主題 『なかまと 心あわせて』

<聖句> 「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます」

(コリントの信徒への手紙 2 4章 18節)